

生涯学習社会の到来と 新しい時代の余暇のあり方

松田 義幸

実践女子大学教授 学会常任理事

1. タイムバジェットから見た人生80年

- a. 70万時間 (24時間 x 365日 x 80年) の構図
- b. リニア・タイムバジェットからリカレント・タイム・バジェットへ
- c. OECD、ILOのタイム・バジェット政策の変遷

2. 生涯学習社会の到来

- a. R. M. ハッチンスの学習社会の構想
- b. ユネスコの「未来の学習」-Learning to be-
- c. E. フロムの所有価値 (to have)から存在価値 (to be) へ

3. 生涯学習の余暇のあり方

- a. 余暇の3側面-アナパウシス、パイディア、スコレー
- b. スコレー本来の意味とリベラルアーツ
- c. リベラルアーツとしてのレジャー

4. リベラルアーツのモデルとしての Great Books 運動

- a. M. J. アドラーの Great Books 運動
- b. Great Books, Great Sports, Great Musics---等の
Great Cultures 運動
- c. Great Cultures のためのレジャー・カウンセリング